第84回 日本臨床外科学会総会 研修医Award受賞について

初期臨床研修医　土田　麻未

初期臨床研修医1年目の土田麻未です。11月下旬に開催された第84回日本臨床外科学会総会に参加し、気胸・膿胸感染症の部門で研修医Awardを受賞することができましたのでご報告させていただきます。本学会では肺化膿症の治療について発表させていただきました。

肺化膿症とは細菌感染などを契機に肺が炎症を起こし、肺組織の構造が破壊されて肺内に空洞を形成し、そこに膿が溜まってしまう病気です。肺化膿症の治療としては抗菌薬による内科的治療が選択されますが、内科的治療で症状が改善しない場合は外科的治療が選択されることがあります。外科的治療としては、肺の膿が溜まっている部分に管を通し、直接膿を肺の外に排出するドレナージという方法と、肺の病変部を手術で切除する肺切除術という方法が選択されることが多いですが、今回発表させていただいた症例は病変部が非常に大きく、ドレナージでは管が細いため効果が不十分となる可能性がありました。肺切除術を行う場合も炎症が強いため肺の癒着が予想され、病変部を切除した際に胸腔内に膿が漏出して健常な臓器にまで感染が及ぶ危険がありました。そのため、本症例では肋骨の一部を部分切除し、体表から肺の病変部に繋がる穴を形成し、肺内に溜まった膿を直接体外へ排出する開窓術という方法で治療を行い、症状の改善を認めました。

肺化膿症に対して開窓術を行った症例についての報告はまだ少なく、外科的治療の選択肢の一つとして有用な症例報告を行うことができたように思います。本学会へ参加された研修医の先生方の発表内容はどれも非常に洗練されており、今後同じような症例を経験した場合に参考にしたいものが多くありました。今回の経験を通して、これからの医療の糧となり得る症例について報告し、知見を広げることの重要性も知ることができました。

最後になりますが、お忙しい中発表内容について丁寧にご指導いただいた当院呼吸器外科の先生方に、この場をお借りして深くお礼申し上げます。本学会へ参加させていただき、誠にありがとうございました。

第67回 日本呼吸器学会 中国・四国地方会 優秀演題賞受賞について

初期臨床研修医　越智　裕貴

皆さんこんにちは！1年目初期研修医の越智裕貴と申します。この度は、2022年12月16日（金）に岡山で開催された第67回 日本呼吸器学会 中国・四国地方会にて優秀演題賞を受賞することができました！

昨年の12月は救急外来での研修が始まって1ヶ月経った頃で、どのような患者さんが運ばれてくるか分からない毎日に緊張してばかりの時期でした。

そこに人生でまだ2回目の学会発表の準備が重なり、資料作成に悪戦苦闘したのも今となっては良い思い出です。

今後の医師生活でも何かしらの「発表」をする機会は沢山あるでしょう。今回の学会発表はそれら全ての礎になったように思います。言葉は雑ですが、今まで何かを受賞した経験が少ない私にとって今回の受賞は正直めちゃくちゃ嬉しいです（笑）

指導してくださった全ての先生にこの場を借りて感謝を述べるとともに、今後の研修医生活に邁進していく決意表明とさせていただきます！